

●主な出来事

一月 角田中学校北校舎火災▽金津中学校屋内体操場竣工
 三月 伝染病隔離病舎完成
 五月 市献血推進協議会発足
 七月 科学技術庁「航空宇宙技術研究所角田支所」開設
 八月 高倉簡易水道落成
 角田中学校校舎竣工▽東根橋起工式
 九月 小田簡易水道落成
 十二月 角田小学校屋内体操場竣工

(一) 婦人の消火訓練と出かせぎ

① 婦人の消火訓練

下段の写真は、常備員（七十三頁参照）の指導を受ける桜七区婦人の消火訓練である。広報かくだ昭和四十年三月号によると、桜七区では三月一日、消防団第五分団や常備員の指導で、消火栓にホースを接続したり、放水したりする本格的な消火訓練を行ったということである。本来なら男が行うような訓練を婦人が行った。なぜなら、特に冬の時期、桜地区では出かせぎで男手が不足するため、万一の場合に婦人の手で消防車出動まで持ちこたえさせる必要があったからである。何ともたくましい婦人達の活動ではないだろうか。それだけ、出かせぎというのはこの時期大きな影を市民生活に落としていたのである。

② 出かせぎ問題

当時は、角田で多くの人が出かせぎに行っていた。広報かく

だ昭和四十一年一月号では、「出かせぎされる農家の方へ」と題し、出かせぎに関する諸注意を呼びかけている。記事によると、出かせぎとは、「自分のうちを離れ、一ヶ月以上出かせぎ先で泊まって就労すること」であると定義づけている。そして、出かせぎによる賃金不払いや災害事故の補償、労働条件の悪化などの問題に対処するため、次の対策を提示している。①縁故者などの世話ではなく公共職業安定所の紹介によって就労すること。②ひとりですら就労せず、三〜五人の隣保集^{りんぼ}団で出かせぎすること。③事業所と所在、事業主名、就業場所、帰郷予定日、留守中の農作業計画、一緒に行く人の名などを家族に伝えること。

いろいろと問題の多い出かせぎではあるが、これが少なくなるのは角田に誘致企業が増え、人口も増加に転じる昭和四十年代中期以降まで待たなければならぬ。この誘致企業と人口増加については七十八頁でまとめていく。



桜七区婦人の消火訓練

40年3月撮影